

【資料】 令和3年度 教育委員会委員活動状況について

(1) 教育委員会の会議回数等

年	月	月日	議案	協議事項	報告事項
令和2年	4	H33.4.26	2	0	2
	5	H33.5.24	3	0	1
	6	H33.6.25	1	0	1
	7	H33.7.28	1	1	1
	8	H33.8.18	1	0	2
	9	H33.9.28	1	0	1
	10	H33.10.25	0	0	1
	11	H33.11.29	1	0	2
	12	H33.12.24	0	2	1
令和3年	1	H34.1.28	0	0	1
	2	H34.2.24	9	1	1
	3	H34.3.29	0	0	1
計(12回)			19	4	15

(次回教育委員会日程は除く)

(2) 令和2年度 教育委員の学校園等訪問 <13日間、15箇所>

(小・中学校8、認定こども園4、子育て支援センター2、学校給食センター)

月日	午前
H33.6.30	浜坂北小学校
H33.7.1	浜坂東小学校
H33.7.2	照来小学校
H33.7.5	浜坂南小学校
H33.7.6	温泉小学校
H33.7.9	浜坂西小学校(給食)
H33.7.12	浜坂中学校
H33.7.13	夢が丘中学校
H33.10.12	浜坂認定こども園
H33.10.19	大庭認定こども園
H33.10.21	浜坂子育て支援センター、学校給食センター
H33.10.28	ゆめっこ認定こども園、温泉子育て支援センター
H33.10.29	明星認定こども園

(3) その他活動

	月日	内容	場所	出席人数
町外事業	H33.7.7	但馬連合会総会・研修会	豊岡市	5名
町外事業	H33.11.1	近畿市町村教育委員会研修大会	尼崎市	3名

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修会等
 兵庫県教育委員会連合会総会・研修会、全県夏季教育委員会研修会、
 但馬地区教育委員研修会 等

	月日	内容	場所
町内行事	H33.4.1	教職員辞令交付式	浜坂多目的集会施設
	R3.4.	入学(園)式	各学校園
	R4.3.	卒業(園)式	各学校園

※ 任意参加行事: 運動会、オープンスクール、学習発表会、文化祭 等

令和3年度 社会教育施設・成果と課題について

番号	施設名	成果と次年度の課題	
1	加藤文太郎 図書館	成果	特別展示を社会情勢情勢を受けたものなど工夫して、図書に興味を持ってもらうことができた。幼児期から本に興味を持ってもらうための講演会を開催して、保護者や先生方に参加してもらった。文ちゃん文庫も適宜手入れを行い適切に利用してもらった。学校から見学を受け付けた。その他イベントも工夫して来館者が増えた。
		課題	図書にであう場所を増やすために学校や図書室などと連携して図書環境を整えていく。文字が読みづらくなる高齢者のための図書のPRを進める。幼児期から本と出会う機会を増やすためイベントを工夫していく。
2	浜坂先人記念館	成果	コロナ禍であるが特に今年度は、展示期間中にミニ講演会や文化協会などとの共催イベントを開催したり、麒麟獅子舞保存会や文化協会など団体と連携したりと、展示内容を工夫してことにより入館者の増に努めたが、1月末からのまん延防止重点措置適用により展示イベントの中止をしたため入館者数は前年度に届かなかった。
		課題	令和3年度に引き続き、展示期間中に「鑑賞教室」「講演会」などのイベントを開催し、入館者の増につなげる令和4年度は、先人記念館開館30周年と文化財収蔵庫の完成を記念し、先人記念館が所蔵する書画・新収蔵品を展示公開する特別企画展を開催する。
3	八田 コミュニティセンター	成果	コロナ禍において、さまざまな制限がある中においても、地域住民の協力を得ながら感染防止対策を徹底し、例年通りの開館日数を確保することができた。また、展示会において、地元カメラマンによる地域の美しい風景を撮影した「写真展」や夢が丘中生徒が郷土学習として取り組んだ「わが町ふるさと展」を開催し、地域の良さを見に来て再発見していただくことができた。※八田文化交流会指定管理
		課題	本施設の入館状況において、コロナ禍の影響は大きく、主に観光客に会場いただく「おもしろ昆虫化石館(展示室)」は前年比77.5%の成果であり、今後、観光客を呼び込める状況になることを見据え、他の社会教育施設や観光施設等と連携し、集客につながる取り組みを検討し、実施していく。また、展示室のリニューアル(一部改修)について、今後検討していく必要がある。
4	社会体育施設	成果	※通常貸館事業では、コロナ禍において、感染防止対策を徹底することや、ワクチン接種会場などにより前年度以上の施設利用となった。 ※体育協会指定管理
		課題	・感染予防対策を取りながら各種大会イベントを開催し、施設利用の普及と事業の推進を図る。 ・各施設ともに経年劣化等による老朽化が激しく、今後は他の公共施設の状況も踏まえながら計画的に大規模改修をする必要がある。 ・艇庫事業においては、安心安全を確保しながら学校や観光面でも連携して実施して、利用拡大を図っていく。
5	町民センター 図書室	成果	※通常図書貸出業務 新規登録 142冊 ・新規図書購入を加藤文太郎記念図書館と連携した図書の選定を行った。新しい図書が利用者にわかりやすいレイアウトを心がけた。コロナ禍で図書利用が伸びなかった。
		課題	・利用者のニーズを把握して、図書室の利用についてPRをする。 ・入りやすい図書室となるようレイアウトを工夫する。 ・図書館と連携した事業や貸本の体制を強化する。
6	文化体育館 「夢ホール」	成果	・各種自主事業を開催し夢ホールをPRするとともに、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、入場者の座席 制限を行い各種事業の推進を図った。 ・芸術文化観光専門職大学とオペレータークラブの交流・連携事業を実施して充実を図った。
		課題	・コロナ禍で感染状況を見ながらイベント開催を適切に判断し、座席数や入場者に対して感染防止対策を徹底する。 ・若い層の集客のために、SNSの活用などPR方法を検討する。 ・オペレーター育成は継続して課題である。